

なんだ・かんだ

◆ 大統領制 ◆

先月号を発刊した時と同時期に、たった2~3日の国会議員だけの間接選挙により「ドジョウ首相」が誕生しました。

そんな折、韓国の大統領選挙についての記事を読み興味を持ったのでここにご紹介させていただきます。

「大統領制のおかげで韓国はここまで発展できた。今の日本に必要なのは大統領選挙だよ」という韓国の人々の意見があるそうです。

今回少し調べたのですが、韓国は長く軍事政権が続いた後で、1987年から国民による大統領の直接選挙に移行し、92年に第14代の金泳三(キム・ヨンサム)からが初めて民主化された大統領になった国です。韓国では基本的人権という部分では長く規制されていたので、国民は「指導者を自ら選べる喜びと責任感」を持ち、大統領選の盛り上がりはすごく、街頭には選挙期間中には100万人近い聴衆が集まることもあり、職場・家庭・街角でも、大統領選挙の話題で皆が激論を交わし、トップを自ら選べる喜びに皆が高揚するといえます。

政策はまず「北朝鮮にどういふ姿勢で臨むのか?」「アメリカにどういふ姿勢で臨むのか?」この2つが問われるそうです。北朝鮮と国境を接し徴兵制を敷く国で、さすがに平和ボケはあり得ない国民であり、「安全があって初めて経済を語る」国です。日本の様に、軍備を捨て経済に邁進し、安全はタダだと思っている国民とは違うわけです。

韓国の大統領直接選挙は、政治に対する責任感を国民の間に植えつけたといいます。「自分が選んだのだから、大統領に文句言う前に、自分が責任を取らねばならない」「政治に対して国民が責任を負う意識があるのだ。だからこそ、国民は真剣に大統領を選ぶ」のだそうです。

現在、韓国の国会で親族に政治家を持つ議員は3人だけ。また、当選4回以上の政治家はほとんどいない。議会で重鎮がおらず、議会より圧倒的に大統領府が力を持っている。国会と政府はちゃんと分離されているから族議員もいない。ということです。大統領制が良いとは言いきれませんが、議会とはこうあるべきだと思います。また、何度裏切られても、国民が政治に期待し、興味を持つことが大切だと思います。

「ドジョウ首相」も就任1カ月、外遊を終え、国会では予算委員会が始まり、これからが本番です。我々国民の期待は非常に大きい。頑張ってください。



■ クールビズ終了ウォームビズへ ■

10月1日は、夏服から冬服への衣替えの時です。同時にクールビズが終了し、ウォームビズとなります。暖房時のオフィスの室温設定を20℃にして、「寒い時は着る」「暖房に頼り過ぎず、働きやすく暖かく格好良いビジネススタイル」それが「ウォームビズ」です。クールビズ同様、暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって、CO2発生を削減し地球温暖化を防止することが目的です。原発停止による節電の必要性はこの冬も変わりません。下着はヒートテックそして、ジャンパーまで着込んで完全防備で執務にあたります。



お彼岸を過ぎ急に気温が下がりました。「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったものですが、余りの気温の変化に体がついていきません。皆様におかれましては、体調管理にお気を付け下さい。

今年3月の震災、9月初めの台風12号と大変な自然災害が続きました。そして、先週は台風15号が上陸し、各地で悲惨な爪痕を残し日本列島を縦断していきましました。当社も窓ガラスが割れたり、多少の被害が出ました。この台風の影響で先週末から当社建設部の社員もたんやわんやの状況で、休みを返上して飛び回っています。屋根が飛んだ。ガラスが割れた。テントが破けた。等などいろいろ話がありますが、兎に角でできるだけ早くお客様の所へ訪問するようにしていますが、実際に工事ができるはつきりした日がわからず、材料の奪い合いという話も出ており、なかなかご希望にお応えできないでいます。

いずれにしろ、被害の状況も考え、お得意様を中心にできるだけ早く対応するように努めております。「迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。」

代表取締役 服部 敏一郎

台風15号

チキリについて

● 船具 ●

当社は、1924年(大正13年)創業当初は船具屋として商いを始めました。沼津港の漁船はもちろん、伊豆半島の各港では多くの漁船が操業し、戦後の高度成長期以降、運搬船や定期航路の客船も航行していました。

当社では、船を塩害や海洋付着物から守る「塗料」船を固定したり、漁に使用する「各種ロープ」船を操業するための「各種設備機器や道具等」を中心に販売してきました。

初めは自転車で大八車を引いて、それが、バイクになり、車になってお客様の所へ回り、最盛期は、毎日トラック一杯の資材を積んで出かけていましたが、漁業が徐々に衰退し、漁船の数が減り、伊豆への定期航路も廃止され、それに伴い造船所も廃業していきました。そして、当社の営業もワゴン車になり、バンになり、訪問する頻度も、週に3日そして2日になり現在に至っています。

もちろん今でも船具販売は、当社の一部門として営業をしていますが、その占める割合は年々少なくなっています。

とは言え、当社の社名である「チキリ」も海に由来しているわけで、船具販売部門は、大切な一部門です。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。N

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/